

1液弱溶剤形スレート屋根用
エポキシ樹脂系浸透下塗材

1液形



キクスイ SPベストシーラー

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
K41014

JASS18 M-201 適合品

「キクスイ SPベストシーラー」は、1液弱溶剤形エポキシシーラーで、浸透性固化性に優れています。また弱溶剤形なため旧塗膜への影響が少ないので下地塗膜のリフティングを起こす心配もなく、強溶剤形では困難な改修にもご使用いただけます。

特長

01 優れた含浸性

含浸性に優れ、下地や空気中の水分と反応し強固な塗膜を形成し固化性も抜群です。

02 優れた適応性

弱溶剤なので下地塗膜のリフティング(縮み)の発生を防ぎます。2回目(既存塗膜下地)の改修向きです。

03 優れた作業性

1液タイプのため主材と硬化剤を混ぜ合わせる必要がなく、作業性に優れています。

用途

屋根改修塗装下塗り

●標準施工仕様

[スレート屋根、波形スレート屋根で、二回目以降の改修の場合]

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(hr)	所要量
素地調整	苔、藻、ごみ、塵埃、油脂分などの付着物及び劣化塗膜は、高圧水洗浄(10MPa程度)で入念に除去し、水洗い後は翌日まで十分乾燥した清潔な面としてください。				
下塗り	キクスイ SPベストシーラー 主材：15kg 無希釈	刷毛 ウールローラー エアレススプレー	1~2	4~168 (23℃)	<スレート屋根一回目改修の場合> 18~75㎡/15kg 0.2~0.8kg/㎡ <スレート屋根二回目以降改修の場合> 75~187㎡/15kg 0.08~0.20kg/㎡
上塗り	キクスイ SPパワールーフSi 主材：13.5kg 硬化剤：1.5kg 塗料用シンナーA：0~1.5L	刷毛 ウールローラー エアレススプレー	2	工程内 3~168 (23℃)	41~60㎡/15kg 0.25~0.36kg/㎡

- (注) 1. 製品は使用前に均一にミキサーで混ぜ合わせてください。
2. 希釈の必要な製品は指定の希釈材を使用し適切な量、適切な方法で均一に薄めてください。
3. 2液形の製品は、主材と硬化剤を指定の比率で調合し、ミキサーで混ぜ合わせてください。特に小分けでご利用の場合は計量器で正確に計量を行ってください。混合後の製品は、可使用時間以内に使い切ってください。また、可使用時間は温度、希釈によって変わりますので、混合後はなるべく早く使い切ってください。
4. 上塗材「キクスイ SPパワールーフSi」の可使用時間は、6時間(23℃)となります。
5. 希釈には弊社推奨の「塗料用シンナーA」を使用してください。



菊水化学工業株式会社

本社 名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル

<https://www.kikusui-chem.co.jp/>

1 液弱溶剤形
スレート屋根用
エポキシ樹脂系
浸透下塗材

1 液形



キクスイ S P ベストシーラー

荷 姿

主 材 NET 15kg/缶入

注意事項 (溶剤形下塗材)

【施工上の注意事項】

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率10%以下、pH10以下で施工してください。
- かびや藻が発生している場合は、塩素系漂白殺菌剤「KSKリーナー」などで殺菌洗浄を行ってください。
- ALCやコンクリートなどで異穴、段差などがある場合は、セメント系下地調整塗材「BR#15」等で処理してください。
- 無機塗料、特殊下地の塗装及び特殊塗装の場合は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。
- 合成皮革、ゴムパッキン、軟質塩化ビニル製品などは、塗膜との接触を避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起きる場合があります。
- 蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など）に塗装する場合は、蓄熱や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで建材の変形、塗膜の膨れ、剥離が生じることがあります。ご採用に当たっては最寄りの営業所にご相談ください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨等）塗膜表面が白化する場合があります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。また、低温又は高湿度時は、乾燥が遅くなりますので施工を行わないでください。
- 外部の施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するよう部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。
- コンクリート下地の旧塗膜の劣化が著しい場合や吸込みの著しい場合は、劣化塗膜を除去した後、「キクスイ浸透性プライマーE」や、「キクスイSPパワーシーラー」を使用してください。
- 押出成形セメント板、GRC板、ケイ酸カルシウム板などには、下塗りとして「キクスイSPパワーシーラー」や「キクスイプライマーEPW」を使用してください。
- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 塗料は均一に防霉型ミキサーで混ぜ合わせて使用してください。
- 開缶後は、早めに使用してください。
- 二液反応硬化形の材料の場合は、主材と硬化剤を指定の比率で混合し、ミキサーで混ぜ合わせて使用してください。特に小分けで使用する場合は、計量器を用いて行ってください。混ぜ合わせ後の材料は、可使用時間内に使い切ってください。また、可使用時間は温度、希釈などの条件により変わりますので、注意してください。
- 材料の希釈量は所定の量により、所定の所要量を守り事前の試験塗りなどで決定してください。希釈の過多、不足はタレや膜厚不足、仕上がりの原因になります。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗分量を確保してください。
- 傷などで補修塗料が必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを取っておき、同一塗料、同ロット、同一方法で補修してください。
- 他の材料と混合して使用しないでください。
- 使用後は刷毛やローラーなどは十分に洗浄してください。
- 下塗材及び上塗材に溶剤形の製品を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 湿気硬化形の材料は、開缶後は空気中の水分と反応しますので速やかに使用してください。また、シンナーにより密栓を行ってください。
- 刷毛塗りとローラー塗り、スプレー塗りが混在する場合、施工方法の違いで若干の色相差が生じます。希釈量を調

整するなどして塗装してください。

- 施工部位により、傾斜壁の下端部、水切りが無い部位、窓周りで水切りが不十分な場合、雨掛りの少ない部位などは低汚染性が十分に発揮されない場合があります。
- 各シーリング材は可塑剤の含まないノンブリードシーリング材を使用してください。また、シーリング材の上へ直接施工する場合、シーリング材の種類や材齢によって塗膜が付着しない場合があります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
- 改修工事の場合、下地を傷み既存塗膜に膨れ・縮み（リフティング）などの異常が発生することがあります。事前に試し塗りをし確認してください。特に、二液反応硬化形弱溶剤形塗料での改修において、既存下地が塗料用シンナーで容易に溶解する場合、縮みや膨れが発生する恐れがあるため、塗装は避けてください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗膜面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスクングを行ってください。
- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 硬化剤は、湿気で硬化しますので密栓をして貯蔵してください。
- 建築用仕上塗材（JIS A 6909）複層塗材および可とう形改修塗材は、下塗材・主材・上塗材を同一メーカーの指定された製品を使用しないと、JIS規格品とはなりません。

【安全衛生上の注意事項】

- 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート:旧MSDS)を参照してください。
- 取扱後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 火花を発生しない工具を使用してください。
- 屋外または換気の良い場所でのみとし、火気厳禁にしてください。
- 必要な時間以外は、環境への放出を避けてください。
- 製品の混ぜ合わせは、防霉型ミキサーにて行ってください。また、必ずアースを取ってください。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- エポキシ樹脂系の材料は、皮膚にかぶれを引き起こす恐れがあります。皮膚に付着しないよう特に注意してください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。
- 粉じん、揮発物等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 使用後保管する際は無希釈の状態ですっきり密栓して40℃以上の場所では保管しないでください。できるだけ早目に使用してください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 保管場所、取り扱い場所とその周辺には、塗装中、乾燥中共に、熱、火花、高温体のような発火源を遠ざけ火気厳禁としてください。取扱いは、法令に沿って保管を行い、特に乾燥中は蒸発の面積が広くなるため、短期間に引火性の高い蒸気が発生します。注意してください。
- 合成樹脂などの電気絶縁性の床で材料の保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の服を着用してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料や塗料の付いた布などを処分する際は、法令に従い産業廃棄物として処理してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水、塗料の付いた布などはそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

取扱店

菊水化学工業株式会社

本社 名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル
☎052-300-2222(代)

仙台支店 ☎022-706-5710

東京支店 ☎03-3981-2500

名古屋支店 ☎0568-69-5200

関西支店 ☎06-7668-5320

福岡支店 ☎092-935-4610

●ホームページアドレス <https://www.kikusui-chem.co.jp/>

